

中間評価（ステージゲート審査）結果

1. 研究課題名： 血球細胞 DNA メチル化変化を標的とした新規腎臓病治療戦略の開発

2. 研究代表者： 林 香（慶應義塾大学 医学部 教授）

3. 中間評価（ステージゲート審査）コメント

本研究課題は、腎臓の DNA 損傷が、腎臓だけでなく血球細胞の DNA メチル化変化も惹起し、腎障害の増悪、他臓器障害に関与している可能性に注目し、腎臓病およびその合併症の新規治療標的の開発を目指すものである。フェーズ 1 では、ポドサイト DNA 損傷や尿細管上皮細胞の DNA メチル化と腎障害から、血球細胞 DNA メチル化変化、腎障害との関係を明らかにし、全身に影響する事を明らかにする等、当初の計画以上に研究が進展した。フェーズ 2 は、非常によく練られた研究計画となっており、今後の発展を大きく期待する。

以上